

令和6年度 都立第一商業高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎学力の定着	・漢字を正しく丁寧に書く練習や、読書指導を繰り返し行い、習慣化させる ・スピーチやプレゼンテーション等、話す活動を増やし、表現力を養う	・「人間と社会」において作文指導を行い、表現力の向上を図る ・外部業者による添削指導の活用 ・ビブリオバトルへの参加 ・日本漢字能力検定の実施
社会	・「社会的な見方・考え方」の育成 ・「社会的課題」を考察する力の育成	・単元の問いを設定した授業の実践 ・校内施設や一人一台端末の積極的な活用 ・地域や専門機関との連携 ・地元である「渋谷」に関する授業の実践	・「社会的課題」の解決に向けて、学習内容を踏まえて思考・表現をする授業の実践 ・生徒が自ら問いをたて、学習内容を踏まえた探究活動の実施
数学	基礎学力の向上	・習熟度別授業の特色を活かしたきめ細かい授業 ・各考査の結果を参考に、弱点を克服するための教材の工夫	問題解決の過程を振り返って考察を深め、粘り強く主体的に学習に取り組む態度の向上を目指した授業の実施
理科	基礎学力の定着	・ICTを用いた授業や実験を通して、視覚的にも科学現象を観察させ、興味・関心を高められるようにする ・身近な科学現象を取り入れた授業展開をする	学んだ知識を用いて、科学現象を考察する姿勢を身につけられるような授業や実験の実施
英語	英語4技能の実践的学習	・習熟度別授業を活用し、個に応じた学習の実施 ・各科目におけるパフォーマンステストの実施	・学年単位での全商協会主催英語検定の受験・対策講座の実施 ・STEP英検受験指導の充実 ・地歴科等と連携した、大使館による英語での講演会の実施
保体	・健康の保持増進のための実践力の育成 ・基礎体力の向上	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、基礎体力を身につけるようにする。	・自身の課題を振り返り、考察を深め、運動による健康への効果を実感できるような授業の実施
家庭	「実習・体験・グループワーク」活動の充実	各項目において知識を習得するとともに、実習、体験、グループワークを実施することで生徒たちへの定着を図る。	学習したこと、体験、実習したことを実際に自分の生活へ陥れ、振り返りさらに課題発見へと促していく。
商業	基礎学力を定着させ、学んだことや経験を関連付けて課題を解決する力を身に付ける	・問題・課題を発見する技術を学習する ・グループ(協働学習)による探究的な実習を実施する ・一人一台端末を活用した学習状況の把握を行う	・渋谷にある企業を題材に実際のビジネスがどのように行われているかを学ぶ ・企業における課題を発見・分析し、解決方法を考察、発表する